

2026年度 医療介護連携研修会を開催

令和8年8月25日、富山ろうさい病院において「2026年度 医療介護連携研修会」

を開催し、当院看護師、地域の介護支援専門員、介護・福祉関係者、医療関係者など54名の皆様にご参加いただきました。

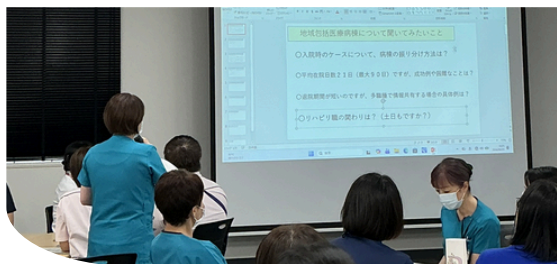
本研修会では、令和8年6月に新設した「地域包括医療病棟」をテーマに、病棟の役割や運営体制、多職種連携による在宅復帰支援について紹介するとともに、入退院支援センターからケアマネ相談窓口やレスパイト入院の活用について説明を行いました。

■グループワーク

参加者から活発な質問やご意見をいただきました。地域包括医療病棟に関しては、「対象となる疾患や手術後の受け入れ患者の選定」「入院期間が短い中での情報共有の具体的な方法」「リハビリテーション職種や管理栄養士の関わり方」など多くの関心が寄せられました。

また、医療と介護の連携に関する課題として、「病棟スタッフや外来看護師、ケアマネジャーなどがお互いの顔が見える関係を構築することの重要性」「服薬管理に関する情報共有」「家族や関係機関を含めた継続的な連携」「患者さんを支える人的資源や支援体制の把握と共有」などが挙げられました。

さらに、独居や家族が遠方に居住している高齢者が増加している現状を踏まえ、本人を取り巻く状況を早期に共有し、支援につなげていく必要性についても意見交換が行われました。



参加者からは、「病院の取り組みや地域包括医療病棟について理解が深まった」「今後も顔の見える関係づくりを進めていきたい」といった声が聞かれ、医療と介護が連携して地域の高齢者を支えることの重要性を再確認する機会となりました。

当院では、「治療するだけでなく、元の生活に戻ること」「住み慣れた地域や施設で生活を続けること」を目標に、多職種による包括的な支援を行っています。今後も地域の医療・介護関係者の皆様との連携を深め、安心して暮らせる地域づくりに貢献してまいります。

ご参加いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

今後とも富山ろうさい病院の取り組みにご理解とご協力をお願いいたします。